

上田 勉

この年末年始、貴州省を巡る一人旅に行つて来ました。貴陽（きよう）・凱裏（がいり）・銅仁（どうじん）・鎮遠（ちんえん）に行きました。中でも鎮遠は、私が今までに行つた街の中で、一番印象の強い街でした。

今までに見た中で、一番印象的な街並みー中国貴州省の鎮遠

鎮遠は、北と東に山があつて、街の真ん中をぶ陽河（川）が流れています。街の中心は興隆街で、道幅が6m ぐらいの石畳みです。道幅が狭いので、車は駐車できません。食堂や商店が軒を並べています。バスは中型で6路線あつて、河の両側を10分起きぐらいで走っています。1km ぐらいの感覚でバス停があるので便利です。所々にお寺があつて、建物も統一されています。夜には橋やお寺・家々がライトアップされます。

土産物屋はありません。なぜならここは世界遺産ではないからです。世界遺産になると、観光客がどっと押し寄せます。すると土産物屋や食堂が多くなって、物価は値上がりします。地元の人達の生活は壊されて、今までの生活はできなくなります。

大東亜戦争の時に、延安では野坂参三が、ここ鎮遠では、鹿地亘・池田幸子夫妻が、日本軍国主義に反対する反戦運動を行いました。中国共産党の八路軍は、規律が厳しく、略奪や婦女子暴行をした兵士は、即刑に処せられます。また、八路軍は、日本の軍国主義は敵だが、日本兵はその犠牲者だと言う立場に立って、日本人捕虜に対しても寛大な処遇をしました（尖閣諸島で兆発するS 国家主席に聞かせてやれ）。鎮遠には日本兵の捕虜収容所があつて、在華日本人反戦同盟和平村の拠点になりました。現在もこの捕虜収容所は、「和平村」として保存されています（A 首相は米国ばかりに謝罪しないで、中国にも謝罪しろ）。

中国の良い所と悪い所 【良い所】

- *公園や博物館等の公共施設は、60 歳以上の老人は入場料が半額以下（外国人もパスポートを見せれば同じ）
- *バスに乗ると、必ず坐っている若者が条件反射的に立ち上がつて、席を譲ってくれる（老人を敬うと言う儒教の思想が現在も残っているのかも。老人が立っていても、坐つて平気でスマホをしている日本人の若者に教えてやれ）
- *どこの街へ行つても、公共バスが網の目のように走っている。バス停には、停まる駅が全部書いてある。バスの前と後ろには路線番号が書いてあつて、外国人でも乗ることが出来る。運賃は1~2元（1元≒18円）です。

【悪い所】

- *トイレが汚い。また、街の中に公衆便所が少ない。（ちなみに大をした時の紙は、便器に流さないで、ゴミ箱に入れる）。
- *中国人民には、列に並ぶという意識が少ない。現在は鉄道駅や高速バスの切符売り場には柵がされて、割り込めなくはなりつつあるが。国家は社会主義・人民は利己主義）

*鉄道や高速バスに乗るには、荷物のチェックがある、鉄道の駅には30分前には行く
必要があり、空港と余り変わらない。

【統一した家々が並ぶ石畳の街並み（貴州省鎮遠）】



【6路線あるミニバス（運賃は2元）（鎮遠）】



【原発被災地を巡るツアー】（いわき駅集合・解散、費用約1万1千円）

（第1回）2月4日（土）～5日（日） 1泊2日

（第2回）2月25日（土）～26日（日） 1泊2日

参加希望者は 上田 まで メールにて

*中国を巡るツアーの予定はありません